

番号	2
事業名	コロナに負けるな！令和3年産米価緊急下支え事業費
予算額	13,257千円（補助金13,000千円ほか）
特定財源	—

市内での主食用米生産量(推定約31万俵)のうち、検査を経て出荷(販売)をされる、減収補てん制度(ナラシ、収入保険制度)未加入農業者にかかるコロナ禍の影響で下落したと考えられる額の一部(1俵あたり500円)を緊急的に補てんし、営農意欲の維持を図ることを目的とした支援事業を、11月補正にて予算計上し、申請の受付を令和4年1月14日で締め切った。

減収補てん制度未加入農業者の予測生産量である約17万俵の流通量について、11月補正時の予測と申請結果を比較すると、JAみえなか出荷分については5,000俵の増(12.5%増)、JAみえなか以外のお荷分については21,000俵の増(420%増)となった。結果として検査を経ない飯米や自家販売等の米は予測を下回り、検査を経て出荷された米が予測を上回ることとなった。

◇水稲作付面積にかかる予測生産量

	水稲作付面積 (ha)	生産量 (kg)	生産量 (俵)	農家数
減収補てん制度 加入農業者	1,654	8,402,320	140,038	119
減収補てん制度 未加入農業者	2,058	10,454,640	(a) 174,244	3,992
計	3,712	18,856,960	314,282	4,111

事業の概要

※ 水稲作付面積は営農計画書から集計
生産量は市平均単収(5,080kg/1ha)から算定

◇減収補てん制度未加入農業者の米流通量の予測と申請結果 比較

	生産量 (俵)	流通量(俵)		
		JAみえなか 出荷	JAみえなか以外 出荷	飯米、 自家販売等
11月補正時(予測)	(a) 174,244	40,000	5,000	129,244
申請結果	(a) 174,244	45,000	26,000	103,244
差引	—	5,000	21,000	△26,000

【補助金】(補正額13,000,000円)

11月補正 45,000俵×500円=22,500,000円
申請結果 71,000俵×500円=35,500,000円
※ 申請農業者は約1,100農業者

【郵送料】(補正額257,000円)

11月補正 386,000円
実績見込 643,000円

事業の背景など	令和 3 年産主食用米 J A 概算金が、令和 2 年産米と比べ、全国的に約 2,000 円～3,000 円/俵下落している。 JA みえなかのコシヒカリ 1 等米においても例外ではなく、令和 2 年産米と比べ、2,800 円/俵下落している。
目的・効果など	緊急的に支援することにより、営農意欲の維持及び耕作放棄地の発生防止が図れる。
事業スケジュール 【予定】	12 月下旬 周知期間 1 月 14 日 申請・実績報告書締め切り 2 月中旬 交付決定・額の確定通知 3 月下旬 支払
添付資料	あり
備考	なし
担当課	産業文化部 農水振興課 担当者：谷川 水本 電話 53-4115